

【競技種目】

シングル・スケート男子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7 級以上	2025 年 7 月 1 日以前に 17 才に達している者	2 分 40 秒±10 秒 4 分±10 秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
ジュニア選手権	5 級以上	2006 年 7 月 1 日～2012 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	2 分 40 秒±10 秒 3 分 30 秒±10 秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
ノービス A	4 級以上 (見込み級を 含む)	2012 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	3 分±10 秒	日本スケート連盟 ノービス A 課題
ノービス B	3 級以上 (見込み級を 含む)	2014 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	2 分 30 秒±10 秒	日本スケート連盟 ノービス B 課題
4 級クラス			3 分±10 秒	日本スケート連盟 ノービス A 課題
3 級クラス			2 分 30 秒±10 秒	日本スケート連盟 ノービス B 課題
2 級クラス			2 分±10 秒	日本スケート連盟 下位クラスガイドライン に準ずる
1 級クラス			1 分±10 秒	同上
初級クラス			1 分±10 秒	同上

シングル・スケート女子

クラス	参加資格		時間	課題
選手権	7 級以上	2025 年 7 月 1 日以前に 17 才に達している者	2 分 40 秒±10 秒 4 分±10 秒	ISU シニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
ジュニア選手権	6 級以上	2006 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	2 分 40 秒±10 秒 3 分 30 秒±10 秒	ISU ジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートティング
ノービス A	6 級以上 (見込み級を 含む)	2012 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	3 分±10 秒	日本スケート連盟 ノービス A 課題
ノービス B	5 級以上 (見込み級を 含む)	2014 年 7 月 1 日～2017 年 6 月 30 日の間に 出生した者(来シーズン年齢含む)	2 分 30 秒±10 秒	日本スケート連盟 ノービス B 課題
6 級クラス			3 分 30 秒±10 秒	ISU ジュニア課題 フリー・スケートティング
5 級クラス			3 分 30 秒±10 秒	ISU ジュニア課題 フリー・スケートティング
4 級クラス			3 分±10 秒	日本スケート連盟 ノービス A 課題
3 級クラス			2 分 30 秒±10 秒	日本スケート連盟 ノービス B 課題
2 級クラス			2 分±10 秒	日本スケート連盟 下位クラスガイドライン に準ずる
1 級クラス			1 分±10 秒	同上
初級クラス			1 分±10 秒	同上

※1 選手権、ジュニア選手権のフリー・スケートティングは競技日程上、ショートプログラム上位2グループで実施します。

※2 ジュニア選手権、ノービスA、ノービスBの年齢要件は来シーズン年齢を含む。

競技課題の内容

【別記1】 2級男女共 3PCS (CO、PR、SK) ファクター:1.8(全PC共通) 転倒: -0.2

(演技時間2分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを2回含むことができる。

第一ジャンプは異なった4種類を含むこと。(回転数が異なって同じ種類とする)

内1つはアクセル型ジャンプでなければならない。

但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転 数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった2種類を2個 (レベルは認定)

1つは1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上)

1つはスピン・コンビネーションのスピン(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベル1で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シーケンス

【別記2】 1級男女共 3PCS (CO、PR、SK) ファクター:1.5(全PC共通) 転倒: -0.2

(演技時間1分±10秒) バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b) スピン要素 最 1 個

1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上) 最大レベル1で評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シーケンス 最大レベルBで評価をする。

シーケンスの長さは1/2以上で認定する。

【別記3】 初級 男女共 3PCS (CO、PR、SK) ファクター:1.2(全PC共通) 転倒: -0.2

(演技時間1分±10秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シーケンスを1回含むことができる。第一ジャンプは異なった4種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大1個

1ポジションのスピン(基本姿勢で5回転以上) レベルBで評価する。

競技課題の内容

シングル・スケーティング

- ・滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。
- ・スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ・不足している回転が、1/4 回転不足の場合は q 1/2回転未満の場合には、under-rotated”<”
1/2転以上の場合は Downgraded “<<”となる。
- ・シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツ・ジャンプとは異なる)

【選手権・ジュニア選手権】

- ・シングル1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、
ショート・プログラムは最後の1本、フリー・スケーティングは最後の3本とする。
- ・プログラム・コンポーネンツの係数は ショート・プログラム 男子1.67、女子1.33とする。
フリー・スケーティング男子3.33、女子2.67とする。

【ノービス】

- ・日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点
プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。
例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0 31秒～40秒 1.5
競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合
上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。
レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、
レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。
- ・プログラム・コンポーネンツの係数は ショート・プログラム 男子1.67、女子1.33とする。
フリー・スケーティング男子3.33、女子2.67とする。
- ・ノービスAクラスの1.1倍のボーナスが付くジャンプは、演技後半に開始されるジャンプのうち、
最後の2つとする。

(ノービスBは1.1倍のボーナス無し)

- ・演技時間違反は超過または不足した5秒までごとに:-0.5点
- ・演技開始遅れは30秒間以内の遅れで演技開始姿勢をとった場合:-0.5点

【2級以下ロークラス】

- ・規定されている最大ジャンプ数のうち、第1ジャンプが重複したものは無価値となる。
- ・転倒は1回につき0.2減点される。
- ・2級以下ロークラスにおける演技中断の減点
プログラムの中断が起こった場合には、レフリーは10秒毎に0.2を減点する。
レフリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフリーは中断全体に対し1.0を減点する。